

「ARC-AGI-4」に関する記述のファクトチェック検証

— 発表時期・GPT-6 Astra の ARC-AGI-3 スコア・公式表現の精査 —

2026 年 9 月 13 日

Claude Fable 5.1

検証対象の記述（提示された原文）

『ARC-AGI-4：Astra の急進化（ARC-3 の攻略）を受けて、2026 年 9 月に新たに発表された次期ベンチマーク。「自律的で終わりのないイノベーションと科学的発見」ができるかを測定する、さらに高度なテストになる予定です。』

1. 要旨

提示された記述は、大枠の骨格は事実に根ざすものの、重要な細部で不正確である。要点は以下の 4 点である。

- ARC-AGI-4 は実在し、ARC Prize Foundation が開発中である。ただし 2026 年 9 月に正式発表・公開（ローンチ）された事実はなく、リリースは 2027 年第 1 四半期（Q1 2027）予定である¹。9 月 3 日には次世代ベンチマークの方向性が公に言及されたにとどまる²。
- 「Astra の急進化」は事実である。OpenAI の GPT-6 Astra（2026 年 9 月 3 日リリース）は ARC-AGI-3 で最先端スコア（標準ハーネス 62.7%、Provider Adapter ハーネス 99.9%）を記録し、行動効率で人間中央値を上回った²。ただし François Chollet 本人は「AGI とは主張しない」と明言しており¹、99.9%はハーネス依存の数値である点に留意を要する。
- 「自律的で終わりのないイノベーションと科学的発見」は公式の正確な表現ではない。ARC Prize の公式表現は「recursive self-improvement and open-ended innovation（再帰的自己改善と終わりのないイノベーション）」²および「open-ended invention（終わりのない発明）」³であり、「科学的発見（scientific discovery）」は ARC-AGI-4 と公式には結び付けられていない。
- 「ARC-3 攻略を受けて発表」という因果関係も不正確である。ARC-AGI-4 の開発は ARC-AGI-3 公開（2026 年 3 月）後に着手され¹、2026 年 6 月には開発支援の資金提供も公表されていた⁵。

2. 記述要素ごとの検証表

提示記述を 7 つの要素に分解し、一次ソースと照合した判定を示す。

#	記述の要素	判定	根拠の要約
1	「ARC-AGI-4」という名称・存在	正しい	ARC Prize Foundation が実際に開発中。Chollet は X で「ARC-4 is in the works, to be released early 2027」と投稿 ¹ 。共同創設者 Mike Knoop も「open-ended invention が ARC-AGI-4 の新たな基盤になる」と公言 ³
2	「2026 年 9 月に新たに発表された」	誤り／不正確	正式な発表・公開は行われていない。公式ブログに ARC-AGI-4 の発表記事は存在しない ⁴ 。リリースは Q1 2027 予定 ^{1,9} 。9 月 3 日は方向性の言及にとどまる。名称の初出は 2026 年 6 月頃の寄付告知 ⁵
3	「Astra の急進化」	概ね正しい	GPT-6 Astra（2026 年 9 月 3 日リリース）が ARC-AGI-3 で最先端スコアを達成 ^{2,6}
4	「ARC-3 の攻略」	部分的に正しい／要注意	Provider Adapter ハーネスで 99.9%、標準ハーネスで 62.7% ² 。Chollet は「step-function change」と評価する一方、「AGI とは主張しない」と明言 ¹ 。99.9%はハーネス依存
5	「自律的で終わらなきイノベーションと科学的発見を測定」	表現が不正確	公式表現は「recursive self-improvement and open-ended innovation」 ² 「open-ended invention」 ³ 。「scientific discovery」は ARC-AGI-4 に関する公式表現ではない（第三者による敷衍）
6	「さらに高度なテストになる予定」	概ね正しい	「リリース時点で未飽和（fully unsaturated upon release）」を狙う設計方針 ¹ であり、より高度な課題を志向
7	「ARC-3 攻略を受けて発表」という因果	誤り／不正確	開発は ARC-AGI-3 公開（2026 年 3 月）後に着手 ¹ 、2026 年 6 月に資金提供公表 ⁵ 。Astra（9 月）以前から進行しており、Astra が直接のきっかけではない

3. ARC-AGI-4 の発表状況

3.1 公式発表の有無

ARC Prize 公式ブログ（arcprize.org/blog）の記事一覧を確認した限り、「Announcing ARC-AGI-4」に相当する発表記事は存在しない⁴。最新記事は 2026 年 9 月 3 日付「OpenAI's GPT-6 Astra on ARC-AGI-3」²であり、その後に ARC-AGI-4 の正式発表は確認できない。

3.2 公式言及の経緯

- **2026 年 6 月頃**：General Intuition 社が ARC-AGI-4 の開発支援を目的として 1,001,337 ドルを ARC Prize Foundation に寄付。ARC Prize 公式 X（@arcprize）は「We're grateful to announce that @gen_intuition has donated \$1,001,337 to support the development of ARC-AGI-4」と投稿

し、公式ニュースレターおよび寄付者一覧でも確認できる⁵。これが ARC-AGI-4 という名称の、本調査で判明した最初期の公的言及である。

- **2026 年 9 月 3 日**：ARC Prize の Astra 評価ブログ（執筆 Greg Kamradt、レビュー François Chollet・Mike Knoop）に、「次世代ベンチマークを形作る問い、すなわち再帰的自己改善と終わりのないイノベーションをどう評価するか（how to evaluate recursive self-improvement and open-ended innovation）を積極的に検討している」と記載²。
- **同日**：共同創設者 Mike Knoop が X で「open-ended invention（終わりのない発明）は未解決であり、これが ARC-AGI-4 の新たな基盤になる」と明言³。
- **同日**：François Chollet が X で「We are still working on ARC-AGI-4, which we started developing after releasing ARC-AGI-3 earlier this year. It is coming Q1 2027.」と明言¹。別の投稿では「ARC-4 is in the works, to be released early 2027. ARC-5 is also planned. The final ARC will probably be 6-7... AGI ~2030」と述べ、年 1 回のリリースと「リリース時点で未飽和」を目指す方針を示した¹。

3.3 判断

したがって正確には、「2026 年 9 月に次世代ベンチマークの方向性が公表されたが、ARC-AGI-4 自体は未公開であり、2027 年第 1 四半期リリース予定」である。「2026 年 9 月に新たに発表された次期ベンチマーク」という記述は、正式ローンチを意味するのであれば誤りである。

4. GPT-6 Astra の ARC-AGI-3 スコアと「攻略」の実態

4.1 GPT-6 Astra の概要

GPT-6 Astra は OpenAI が 2026 年 9 月 3 日に承認組織向けにリリースし、翌 9 月 4 日に一般提供を開始した最新モデルである^{6,7}。API ID は gpt-6-astra、コンテキスト長は約 105 万トークン、価格は入力 10 ドル・出力 50 ドル（100 万トークンあたり）とされる⁷。

4.2 ARC Prize による公式検証結果

ARC Prize（Greg Kamradt 執筆、2026 年 9 月 3 日）による検証結果は以下のとおりである²。

- **標準ハーネス（Standard harness）**：Astra（max）が ARC-AGI-3 Semi-Private セットで 62.7%、コスト 26,098 ドル。
- **Provider Adapter ハーネス**：Astra（high）が 99.9%（詳細値 99.95%）、コスト 18,817 ドル。
- いずれも SOTA（最先端）。

- **行動効率**：ARC Prize は「GPT-6 Astra surpasses the human baseline in action efficiency on ARC-AGI-3. It used fewer actions than the median tested human on 96% of levels.」と記載。Provider Adapter では平均 51.7%少ない行動数で、行動効率の指標で人間パリティに到達・超過したと評価。
- **人間ベースライン**：ARC-AGI-3 公開前に一般市民約 500 名をテストして設定（「we tested approximately 500 members of the general public」）。1 ゲームあたり約 12.78 ドル相当（時間対価込み）。

4.3 他のフロンティアモデルとの比較（標準ハーネス、ARC Prize 検証）

- Claude Opus 5：30.16%（2026 年 7 月）⁸
- GPT-5.6 Sol：7.8%⁸
- Grok 4.6：2.11%（コスト 5,612 ドル、2026 年 8 月）^{8,9}。Grok 4.5：0.32%（2026 年 7 月）⁸
- ローンチ時（2026 年 3 月）：Claude Opus 4.6（Max）0.50%、Gemini 3.1 Pro Preview 0.40%、GPT-5.4（High）0.20%、Grok-4.20 0.10%。人間は 100%^{10,11}

半年で 0.50%から 62.7%への上昇は、ARC-AGI シリーズ史上最速の上昇と評されている⁹。

4.4 「攻略」の評価

OpenAI は「Astra は ARC-AGI-3 を 99.9%で飽和させた（saturates）」と表現しており⁶、多くの解説記事も 99.9%を見出しに掲げている^{12,13,14}。Chollet 本人も X で「GPT-6 Astra represents a step-function change in model capability for interactive reasoning problems. It scores 66% on ARC-AGI-3 using our standard harness, and nearly 100% with a continuous conversation harness... Many of you will ask, 'if it saturates ARC 3, is it AGI?' We're not making this claim.」と述べた¹（なお Chollet 投稿の「66%」と公式ブログの「62.7%」には差があり、投稿時点の暫定値または丸めの差と推測されるが、本調査では確認できていない）。

「攻略」と評価するにあたっては、以下 3 点の留保が必要である。

- **ハーネス依存**：99.9%は Provider Adapter（ベンダー独自のハーネス）に依存する数値である。ARC Prize が全モデルに共通適用する標準ハーネスでは 62.7%であり、同一モデル・同一環境で約 37 ポイントの差が生じている。この差は「知能ではなくメモリ処理（scaffolding）の違い」によるものとの解説が複数あり^{12,13}、研究・比較目的で引用すべきは標準ハーネスの 62.7%である。

- **飽和≠AGI**：ARC Prize は「ベンチマークの飽和は AGI 達成の証明ではない」と一貫して明言しており^{2,11}、Astra についても「意味のある進歩を示すが AGI とは主張しない」との立場である¹。
- **急進化自体は妥当**：一方で、標準ハーネスの 62.7%も従来記録（Opus 5 の 30.16%）を倍増させる大幅な更新であり、「急進化」との評価自体は妥当である。

5. 「自律的で終わりになきイノベーションと科学的発見」の表現検証

5.1 公式表現との照合

- ARC Prize Astra 評価ブログ（2026 年 9 月 3 日）：「how to evaluate recursive self-improvement and open-ended innovation」²
- Mike Knoop（X、同日）：「open-ended invention is unsolved, and this will form the new basis for ARC-AGI-4」³
- ARC-AGI 公式ページ（長年の表現）：「only humans are capable of open-ended innovation and discovery（終わりになきイノベーションと発見ができるのは人間だけ）」¹⁵

5.2 判断

「終わりになきイノベーション（open-ended innovation／invention）」は公式表現に合致する。「自律的（autonomous）」も、ARC-AGI-3 が「目標に向けて自律的に行動する能力」を測る文脈で用いられており¹¹、近い表現といえる。しかし「科学的発見（scientific discovery）」を ARC Prize が ARC-AGI-4 と直接結び付けて公式に用いた証拠は見当たらない。提示記述の表現は、複数の公式概念（open-ended invention、recursive self-improvement、ARC-AGI-3 の自律性、公式ページの「innovation and discovery」）を合成した第三者的な敷衍表現と判断される。

6. 因果関係「ARC-3 攻略 → ARC-AGI-4 発表」の検証

この因果関係は成立しない。理由は以下のとおり。

- ARC-AGI-4 の開発は ARC-AGI-3 公開（2026 年 3 月 25 日）後に着手された（Chollet「we started developing after releasing ARC-AGI-3 earlier this year」）¹。
- 2026 年 6 月には General Intuition の寄付により ARC-AGI-4 開発支援が公表済みである⁵。
- Astra のリリース（2026 年 9 月 3 日）は ARC-AGI-4 構想より後の出来事である。Knoop は、Astra の結果が「open-ended invention は未解決」という方向性を明確化したと述べるが³、ARC-AGI-4 の発表を引き起こしたわけではない。

- 「ARC-3 攻略が直接のきっかけ」は報道・解説者レベルの推測であり、ARC Prize の公式説明とは異なる。

7. ARC-AGI シリーズの系譜と飽和の経緯

世代	リリース	形式	ローンチ時の AI 最高／人間	飽和の経緯
ARC-AGI-1	2019 年 ¹⁶	静的グリッドパズル (pass@2)	2020 年 Kaggle 約 20% (icecuber) → 2023 年約 33% → 2024 年 55.5% ¹⁷	2024 年 12 月に OpenAI o3 が 87.5% (低効率設定、約 4,560 ドル/タスク) で突破 ^{9,18} 。2026 年には Grok 4.6 が同 87.5% を 0.30 ドルで達成、GPT-6 Astra は 98.5% ⁹ 。現在は回帰テスト的位置づけ
ARC-AGI-2	2025 年 3 月 24 日 ⁹	静的、合成的推論を強化	o3-preview-low 4% (200 ドル) ／人間パネル 100% ・ 個人平均 60% ⁹	2026 年 9 月時点で GPT-6 Astra 95.0%、Claude Fable 5.1 90.0%、Gemini 3.7 Flash 84.6% ^{8,9} 。ARC Prize 2025 の Kaggle 優勝 NVARC は非公開セット 24.03% ⁹
ARC-AGI-3	プレビュー2025 年 8 月、正式 2026 年 3 月 25 日 ¹⁰	インタラクティブなゲーム形式 (行動効率で採点) ¹¹	ローンチ時 1% 未満 (Opus 4.6 Max 0.50%) ／人間 100% ¹⁰	2026 年 9 月に GPT-6 Astra が標準 62.7% ・ Provider Adapter 99.9% ²
ARC-AGI-4	2027 年第 1 四半期予定 ¹	未公表 (open-ended invention／recursive self-improvement を志向) ^{2,3}	未定	開発中

Chollet は 2019 年の論文「On the Measure of Intelligence」で知能を「skill-acquisition efficiency (スキル獲得効率)」、すなわち新しいスキルをいかに効率的に学べるかと定義し¹⁶、ARC Prize は「AGI = 人間の学習効率に匹敵するシステム」と定義している¹⁵。「ベンチマークの飽和は AGI ではない」を一貫して強調しており^{2,11}、Chollet は「人間ができて AI ができないことを提案できなくなるまでベンチマークを作り続ける」「AGI は 2030 年頃」とも述べている¹。

8. 反響・評価

8.1 主要関係者・評価機関

- **François Chollet** : Astra の進捗を「予想より 2 倍速い」と評価し、自身の AGI 予測を前倒しした¹⁹。ただし「ベンチマーク成功は AGI の証明ではない」との立場は変えていない^{1,20}。
- **Epoch AI** : Astra を独自の総合指標 Epoch Capabilities Index (ECI) で 267 モデル中 1 位 (169 点) と評価。研究者 Greg Burnham は「一つの時代の終わり、別の時代の始まり (end of one era, start of another)」と評した^{19,21}。
- **Artificial Analysis** : Astra を前世代と同等 (61 点、Claude Fable 5.1 の 66 点を下回る) と評価し、Epoch AI と結論が対立している¹⁹。

8.2 批判的見解

- **ハーネス依存** : 同一モデルが標準 62.7%/Provider Adapter 99.9%となる問題^{12,13}。ARC Prize 自身の技術レポートも、環境 TR87 で Opus 4.6 が無ハーネス 0.0%・Duke ハーネス 97.1%となる例を挙げ、ハーネスが「ベンチマークの半分」を占める問題を指摘している¹¹。ARC Prize は今後、標準と Provider Adapter の両結果を明示的にラベル付けして公開する方針である²。
- **汚染・利益相反の懸念** : Astra の ExploitBench 成績が新規脆弱性版では大幅に低下したとの指摘がある (二次解説による。原典は本調査で未確認)。また、FrontierMath を作成した Epoch AI が OpenAI から資金と問題アクセスを得ていた利益相反は 2025 年に TechCrunch が報じている²²。
- **方法論 (分析)** : 「科学的発見」「終わりなき (open-ended)」能力を有限のベンチマークで測定可能かという疑問は、ARC-AGI-4 設計上の根本的課題である。

8.3 日本語圏の報道

GIGAZINE、PC Watch (Impress)、ライブドアニュース、Zenn、Qiita 等が GPT-6 Astra の ARC-AGI-3 スコアを報道した。多くが「99.9%」を見出しに用いており、ハーネス依存 (標準 62.7%) の留保に触れる記事 (Zenn 等)¹² と触れない記事が混在する。PC Watch は「AGI 能力テストで 99.9%」と見出しに掲げつつ、本文で他モデル比較を示している²³。ARC-AGI-4 自体を主題とした日本語記事は、本調査では確認できなかった。

9. AI×知財への含意 (分析)

ARC-AGI-4 が「終わりなき発明 (open-ended invention)」「再帰的自己改善」を測定対象に据える方向性は、AI による自律的な発明・研究能力の評価が本格化することを意味する。知財実務への含意は以下のとおりである。

- **発明者性**：DABUS 事件は主要法域で決着し、米・英・独・EPO で「発明者は自然人に限る」が確立している。2026 年 4 月にはインド特許庁も DABUS 出願を拒絶した²⁴。2026 年の AI×IP フォーラムでは「AI 発明者性は決着済み。次の争点は進歩性（inventive step）」と総括されている²⁴。AI の発明生成能力が向上しても、現行法上は人間の発明者が必要である。
- **論点の移動**：AI の発明能力が上がるほど、(1)進歩性判断（当業者の水準が AI で底上げされるか）、(2)AI 支援発明における人間の寄与の立証、(3)R&D 自動化に伴う出願量増大と審査負荷、が実務の焦点となる。USPTO・EPO・UKIPO はいずれも審査ワークフローに AI を導入済みであり、IP 専門家の 85%が何らかの形で AI を利用しているとの調査もある²⁵。
- **留意**：ARC-AGI-4 は能力測定ベンチマークであり、法制度を直接変えるものではない。ただし「AI が自律的に発明・発見できるか」を定量化する試みとして、政策・立法議論の参照点となり得る。

10. 記述の修正案と今後の確認ポイント

10.1 修正案

- 「2026 年 9 月に発表された」→「2026 年 9 月に方向性が公表され、2027 年第 1 四半期リリース予定」
- 「自律的で終わりのなきイノベーションと科学的発見」→公式表現「終わりのなき発明（open-ended invention）／再帰的自己改善（recursive self-improvement）」に置換し、「科学的発見」は公式表現でない旨を注記
- 「ARC-3 の攻略を受けて」→因果を弱め、「Astra の進展が ARC-AGI-3 の限界と次の問いを明確化した」程度に
- Astra スコアは「99.9%」単独ではなく「標準ハーネス 62.7%／Provider Adapter 99.9%」と併記し、ハーネス依存を明記

修正例文：

『ARC-AGI-4：ARC Prize Foundation が開発中の次期ベンチマーク（2027 年第 1 四半期リリース予定）。GPT-6 Astra が ARC-AGI-3 で標準ハーネス 62.7%・Provider Adapter ハーネス 99.9%を記録したことを受け、2026 年 9 月に「再帰的自己改善」と「終わりのなき発明」を評価対象とする方向性が示された。』

10.2 判断が変わる閾値

- ARC Prize が正式に「Announcing ARC-AGI-4」記事を公開すれば、「発表」の判定を更新する。
- 公式が「scientific discovery」を ARC-AGI-4 の測定対象として明示すれば、表現の判定を更新する。
- 2027 年第 1 四半期にリリースされなければ、時期の判定を更新する。

11. 留意事項（事実と推測の区別）

- 本レポートの数値・引用は、ARC Prize 公式（arcprize.org、arcprize.kit.com）、OpenAI 公式、Chollet・Knoop の X 投稿、および複数の二次報道に基づく。X 投稿はアクセス制限のため検索インデックスおよび複数のアグリゲータ経由で内容を確認しており、投稿 URL および一部投稿の正確な投稿日時は直接検証できていない。
- ARC-AGI-4 は未公開のため、設計思想・タスク形式・評価方法・人間ベースライン・賞金設計・ARC Prize 2027 との関係等の詳細は現時点で未確定である。本レポートは方向性の公式言及に限りて記載した。
- Astra の 99.9%と 62.7%の差、汚染懸念、Epoch AI と Artificial Analysis の評価対立などは情報が錯綜・議論中であり、断定を避けた。
- 第 9 節（AI×知財への含意）および第 8.2 節の方法論に関する記述は、確認された事実ではなく分析・推測である。
- 参考文献のうち「URL 未検証」「原典未確認」と付したものは、本調査で直接アクセスして内容を確認できなかったものである。

参考文献

1. François Chollet (@fchollet) X 投稿、2026 年 9 月 3 日（「We are still working on ARC-AGI-4… It is coming Q1 2027」「ARC-4 is in the works, to be released early 2027」「We're not making this claim」等）。**投稿 URL 未検証**（検索インデックスおよび二次記事経由で内容を確認）。
2. ARC Prize Foundation（Greg Kamradt 著、François Chollet・Mike Knoop レビュー）「OpenAI's GPT-6 Astra on ARC-AGI-3」ARC Prize Blog、2026 年 9 月 3 日。https://arcprize.org/blog/astra
3. Mike Knoop (@mikeknoop) X 投稿、2026 年 9 月 3 日（「open-ended invention is unsolved, and this will form the new basis for ARC-AGI-4」）。**投稿 URL 未検証**。
4. ARC Prize Foundation, ARC Prize Blog 記事一覧。https://arcprize.org/blog（2026 年 9 月 13 日時点で ARC-AGI-4 の発表記事なし）
5. ARC Prize Foundation (@arcprize) X 投稿、2026 年 6 月頃（General Intuition による 1,001,337 ドルの寄付告

- 知)。投稿 URL 未検証。関連：ARC Prize Newsletter (arcprize.kit.com)、寄付者一覧
<https://arcprize.org/donate>
6. OpenAI 「GPT-6 Astra: A new generation of intelligence」 2026 年 9 月 3 日。 <https://openai.com/index/gpt-6-astra/>
 7. 9to5Mac 「OpenAI releasing major upgrade to ChatGPT and Codex with GPT-6 Astra, details here」 2026 年 9 月 4 日。 <https://9to5mac.com/2026/09/04/openai-releasing-major-upgrade-to-chatgpt-and-codex-with-gpt-6-astra-details-here/>
 8. BenchLM 「ARC-AGI-3 Leaderboard & Scores — September 2026」 。 <https://benchlm.ai/benchmarks/arcagi3>
 9. R40 「The Same 87.5% on ARC-AGI-1 Cost \$4,560 in 2024 and 30 Cents in 2026. ARC-AGI-4 Lands in 2027.」 。 <https://r40.io/blog/arc-agi-verified-cost-per-task-price-step/>
 10. ARC Prize Foundation 「Announcing ARC-AGI-3」 ARC Prize Blog、2026 年 3 月 25 日。
<https://arcprize.org/blog/arc-agi-3-launch>
 11. ARC Prize Foundation 「ARC-AGI-3: A New Challenge for Frontier Agentic Intelligence」 arXiv:2603.24621、2026 年。 <https://arxiv.org/pdf/2603.24621>
 12. Zenn (acntechjp) 「GPT-6 Astra がリリース、ARG-AGI-3 が 99.9 パーセント。特化ハーネスとは何か調べた」 2026 年 9 月。 <https://zenn.dev/acntechjp/articles/a302d301eb9cec>
 13. Articsledge 「GPT-6 Astra & the AGI Era: Fact-Checked」 2026 年 9 月。
<https://www.articsledge.com/post/gpt-6-astra-agi-era>
 14. Mehul Gupta 「GPT 6 Astra Full Analysis」 Medium (Data Science in Your Pocket) 、2026 年 9 月。
<https://medium.com/data-science-in-your-pocket/gpt-6-astra-full-analysis-013d7c25f176>
 15. ARC Prize Foundation 「What is ARC-AGI?」 。 <https://arcprize.org/arc-agi>
 16. Chollet, F. 「On the Measure of Intelligence」 arXiv:1911.01547、2019 年 11 月。
<https://arxiv.org/abs/1911.01547> (本調査では直接参照せず、既知の文献として記載)
 17. Chollet, F., Knoop, M., Kamradt, G., Landers, B. 「ARC Prize 2024: Technical Report」 arXiv:2412.04604、2024 年 12 月。 <https://arxiv.org/pdf/2412.04604v1>
 18. Aibase 「ARC-AGI benchmark is about to break through, but founder warns of flaws in test design」 。
<https://www.aibase.com/news/13818>
 19. The Decoder 「Benchmarks disagree on GPT-6 Astra, but its human-beating efficiency on ARC-AGI-3 pulls Chollet's AGI forecast forward」 2026 年 9 月。 <https://the-decoder.com/benchmarks-disagree-on-gpt-6-astra-but-its-human-beating-efficiency-on-arc-agi-3-pulls-chollets-agi-forecast-forward/>
 20. The Decoder 「François Chollet on the end of scaling, ARC-3 and his path to AGI」 。 <https://the-decoder.com/francois-chollet-on-the-end-of-scaling-arc-3-and-his-path-to-agi/>
 21. The New Stack (Epoch AI・Greg Burnham 氏のコメントを報道) 2026 年 9 月。URL 未確認。
 22. TechCrunch 「AI benchmarking organization criticized for waiting to disclose funding from OpenAI」 2025 年 1 月。URL 未検証。

23. PC Watch (Impress) 「AGI 能力テストで 99.9%、ChatGPT の新モデル「GPT-6 Astra」登場」2026 年 9 月。<https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/2138206.html>
24. Solve Intelligence 「AI inventorship settled: 2026 AI and IP Forum findings」2026 年。
<https://www.solveintelligence.com/blog/post/what-the-2026-ai-and-ip-forum-concluded-on-ai-patents>
25. Questel、IP 専門家の AI 利用に関する 2025 年調査（二次情報経由、**原典 URL 未確認**）。
- （各 URL の最終アクセス日：2026 年 9 月 13 日）